

お客様各位

能美防災株式会社

消火設備機器の「オーバーホール」のおすすめ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素から消火設備機器の維持管理にご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

消火設備機器は、火災から人命および財産を守る重要な消防用設備等の一つであり、火災時に確実に作動することが必要です。消火設備機器を更新時期まで適正な状態に維持管理して頂くためには、予防保全の観点から消防法で定める定期点検の他に定期的なオーバーホールが必要です。部品の劣化・可動部の固着等の不具合部分の交換及び修理、機器内部の異物や堆積物等の清掃を行うことで機器の機能を維持することをお勧め致します。

オーバーホールは消火設備機器を適正に維持管理する上で必要な事項であることをご理解頂き、維持管理計画に組み込んで頂けますようお願い申し上げます。

敬具

記

オーバーホールを推奨するおおよその年数

主要機器名	年数
消火栓（開閉弁） 一斉開放弁、ポンプ、 泡消火薬剤貯蔵槽、送水口、放水口、流水検知装置、 ジョッキポンプ（補助加圧ポンプ） コンプレッサー	10 年
調圧機構を有する弁類（一次側圧力調整弁、減圧弁等）	5 年

注 1）上記年数はビル用の水泡系消火設備の主要機器について定めています。

注 2）上記年数は適切に定期点検が実施され、温度、湿度等の機器の設置環境に問題が無いことを条件とします。

注 3）風水、塩分、腐食性ガス等の影響を受ける場所、その他環境の厳しい場所に設置されている機器については、上記年数を待たずに機能が劣化する場合があります。

注 4）運転時間等によっては、オーバーホールの期間が短くなることもあります。

注 5）NS システム、閉鎖型噴霧消火システム、放水型ヘッド等スプリンクラー設備に関する機器は別途定めています。

注 6）予作動式スプリンクラー設備の制御盤の定期交換部品については別途定めています。

注 7）技術的、社会的変化等に伴い内容を見直すことがありますのでご承知おき下さい。

オーバーホールとは、部品の劣化、機器内部の異物付着や堆積、可動部における固着等の劣化・不具合部分を交換・清掃・修理により機器の機能を修復することを言います。

以上